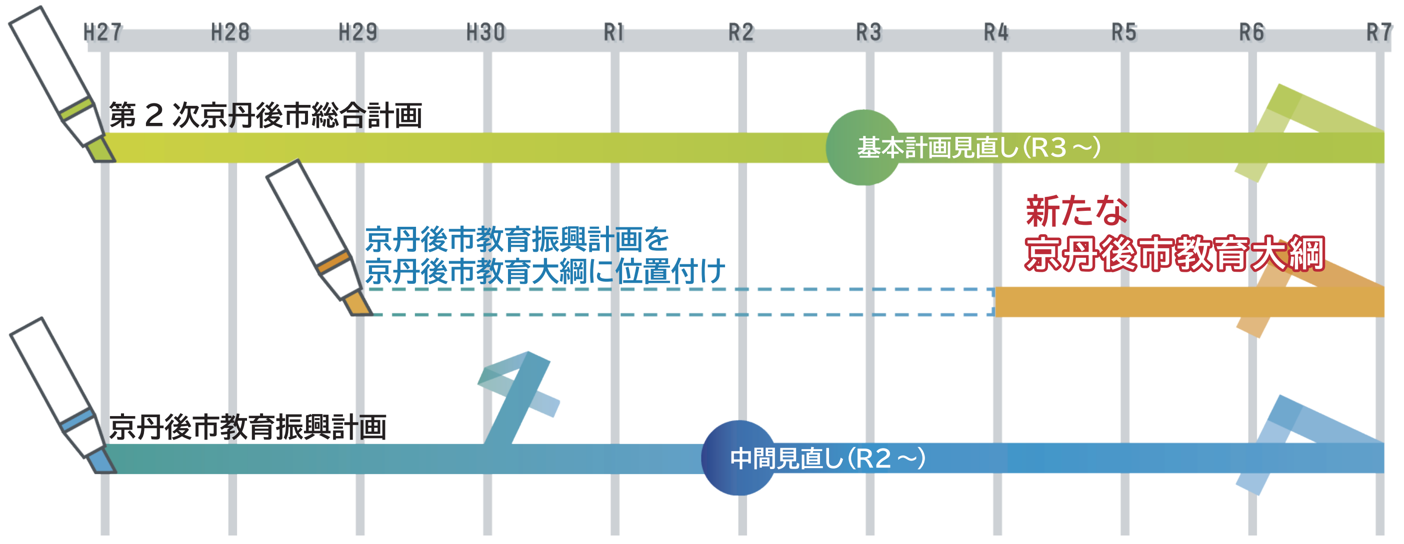
京丹後市教育大綱の策定期間

京丹後市教育大綱の策定期間は、第２次京丹後市総合計画及び京丹後市教育振興計画の計画期間にあわせ、令和６年度までの３年間とします。ただし、その間において教育大綱の修正や見直しの必要が生じたときは、総合教育会議で協議及び調整することとします。



京丹後市教育大綱の策定について

子どもたちは、これからの京丹後市、ひいては、日本、そして世界を豊かに担っていってくれる、かけがえのない至宝です。子どもたちをまちづくりのど真ん中に置き、誰ひとり置き去りにされることのない教育環境とともに、すべての子どもたちの夢や向上心を支え、一人ひとりの無限の可能性を限りなく引き出していく教育を、ぜひ実現していきたい、と心より願っています。

さて、「京丹後市教育振興計画」（令和２年度改定版）では、「心豊かにたくましく　幸福な未来を切り拓く力を育む教育」及び「ふるさとへの愛着と誇りを持ち　新しい価値を創りだす力を育む教育」を京丹後市が目指す教育の基本理念とし、就学前から中学卒業までの 10 年間を見通した保幼小中一貫教育及び生涯学習を主な視点に体系的・総合的な計画が示され、全力・真摯にその推進が図られています。

その上で、子どもたち一人ひとりの人生全体を通じて力となる教育の影響とその在り方を考えますとき、本来、義務教育前から義務教育の期間にとどまらず、義務教育後の高等学校教育や大学・専門学校教育の期間にまで視野をはせ、向き合う姿勢が大切です。このことからは、本市教育振興計画に掲げる基本理念を大切な基盤にして、京都府教育委員会はじめ関係主管機関のご指導も受けつつ、保幼小中から高・専・大にかけての各教育の諸機能が子どもを起点に相互に適切に連携し合うと共に、豊かな人間性・社会性、生き抜く力など全人的な人づくりを考え、展望して、市政の全・各分野を通じて必要な施策を体系的に展開していくことが重要で欠かせません。

更にまた、近時は、新型コロナウイルス感染症の拡大を機に急速に進展したデジタル化やＡＩなど社会環境が激しく変動し、今、課題の発見・解決や社会的な価値・行動創造の力を分野横断的に育む、ＳＴＥＡＭ教育が注目されています。これは今後の教育の在り方としてとても重要であることと共に、未来のまちづくりにおける社会的・経済的な価値創造に深く関わるだけに、広く市政の各分野から機能的にフィードバックした連携を考え、つなげていくことが相互の効果を高める教育分野でもあります。

今般、市政全体の教育展望を定める教育大綱の策定に当たり、昨今の社会情勢の変化や市政各分野との連携・教育への相乗効果が臨める分野からの視点を総合的に踏まえ、本市総合計画及び教育振興計画との整合性を図りつつ、まちづくり・ひとづくり全体を通じた教育、学術及び文化の振興に係る基本理念とその理念を達成するための柱を取りまとめ、新たに教育大綱として策定を行いました。

すべての子どもたちの無限の可能性が、「生き抜く力」「豊かに生きる力」として引き出され、豊かに、力強く育まれますよう。子どもたち個々自らの幸福な人生形成と市民みんなの幸福実感の向上がますます実現していきますよう。そして、誰ひとり置き去りにされることなく、笑顔がいっぱいにあふれ輝くまちへ。このための教育に教育委員会とともに市政を挙げて全力を注いでまいります。

令和４年７月　　　京丹後市長　中山　泰

きょうたんごし
きょういくたいこう
京丹後市教育大綱
をつくりました

GUIDING PRINCIPLES
FOR EDUCATION
IN KYOTANGO CITY

令和４年７月
京丹後市